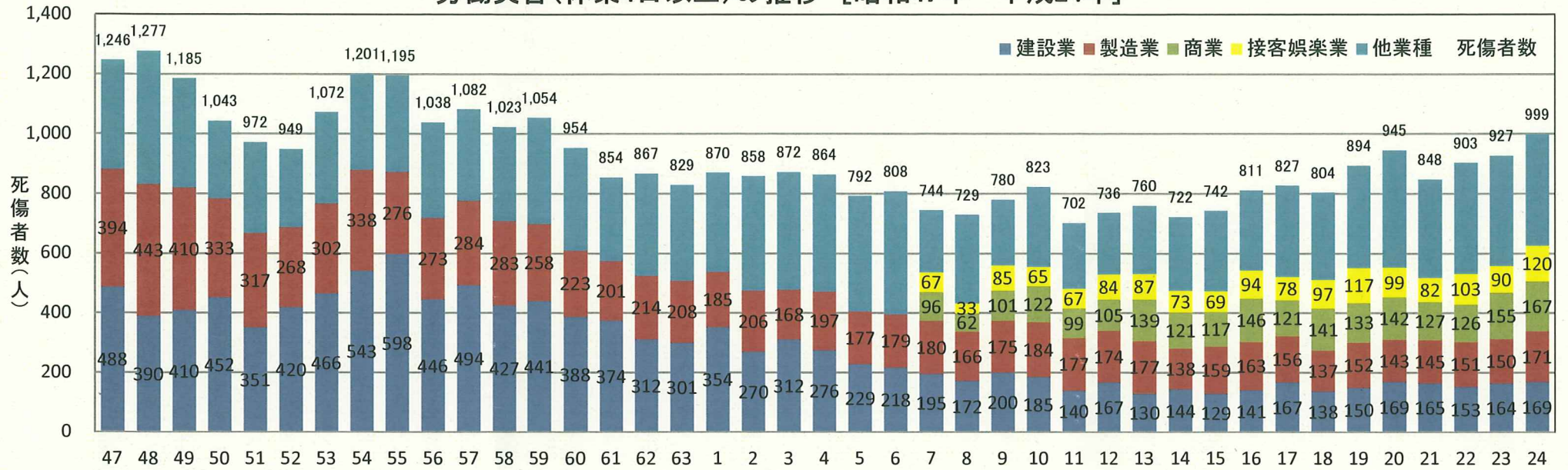


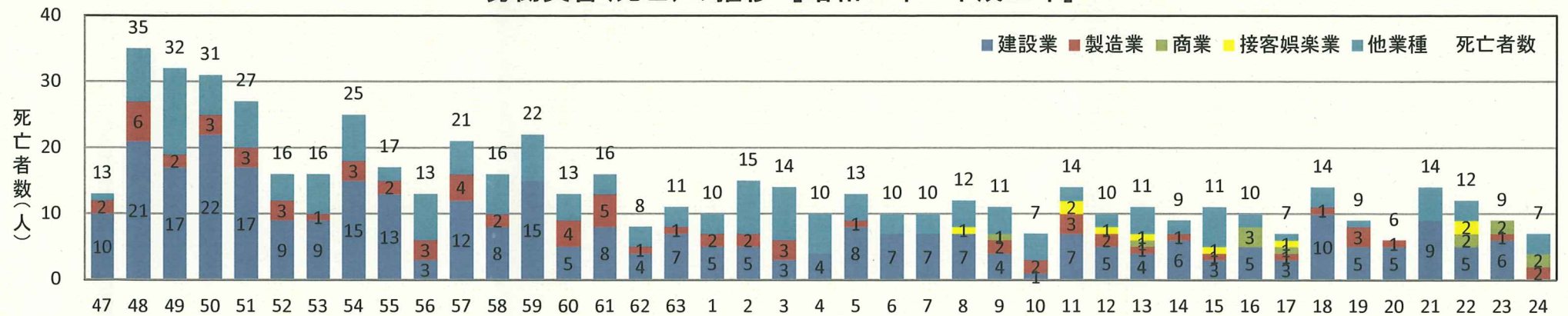
# 資料1 年別労働災害発生状況の推移(沖縄県内)

## 別添 2

### 労働災害(休業4日以上)の推移 [昭和47年～平成24年]



### 労働災害(死亡)の推移 [昭和47年～平成24年]



(注) 1 休業4日以上死傷者数は労働者死傷病報告による。死亡者数は死亡災害報告による。  
 2 平成6年以前について、商業及び接客娯楽業は他業種に含まれる。

## 資料2 平成24年 署別・業種別労働災害発生状況(確定値)

沖縄労働局

業 種	平成24年(1月~12月)						平成23年(1月~12月)						局計対23年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	増減数(人)	増減率(%)
製 造 業	107	(1) 37	(1) 15	5	7	(2) 171	(1) 81	45	10	2	12	(1) 150	21	14.0
鉱 業	0	0	0	0	0	(0) 0	0	0	0	0	0	(0) 0	0	-
建 設 業	78	60	19	4	8	(0) 169	(3) 74	(2) 61	16	(1) 9	4	(6) 164	5	3.0
交 通 運 輸 事 業	18	4	0	0	3	(0) 25	21	2	0	1	1	(0) 25	0	0.0
陸上貨物運送事業	45	3	1	0	0	(0) 49	47	4	0	1	4	(0) 56	▽7	▽12.5
港 湾 荷 役 業	3	0	0	0	0	(0) 3	4	0	0	0	0	(0) 4	▽1	▽25.0
林 業	0	0	0	0	0	(0) 0	0	0	0	0	0	(0) 0	0	-
農業、畜産・水産業	4	4	3	1	1	(0) 13	10	0	4	0	1	(0) 15	▽2	▽13.3
第 三 次 産 業 (運輸を除く)	287	(2) 181	(3) 51	17	33	(5) 569	263	(2) 181	32	12	25	(2) 513	56	10.9
商 業	97	(1) 50	(1) 12	4	4	(2) 167	92	(2) 49	7	4	3	(2) 155	12	7.7
接 客 娯 楽 業	49	34	16	4	17	120	39	25	11	1	14	90	30	33.3
保 健 衛 生 業	41	22	13	5	7	88	51	31	7	3	1	93	▽5	▽5.4
ビルメンテナンス業	21	(1) 21	0	1	2	(1) 45	20	20	1	1	1	43	2	4.7
そ の 他 の 業 種	79	54	(2) 10	3	3	(2) 149	61	56	6	3	6	132	17	12.9
全 産 業	(0) 542	(3) 289	(4) 89	(0) 27	(0) 52	(7) 999	(4) 500	(4) 293	(0) 62	(1) 25	(0) 47	(9) 927	72	7.8

(注) 1 労働者死傷病報告により作成したもの。  
 2 被災者数の枠の左側( )は死亡者数で内数。  
 3 「▽」は減少を示す。

4 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。  
 5 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。  
 6 その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(ビルメン除く)、官公署、その他の事業を示す。

資料3 平成24年 死亡災害発生状況（確定）

沖縄労働局

番号	所轄署	型別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発注者別	発生状況
1	沖縄	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	商業	1月中旬	50歳代	1~9	—	車道に停車した自動車から降りていた配達員が、自らの自動車とガードレールの間にいたところ、車道を走行していた他の自動車が配達員の自動車に追突し、自らの自動車とガードレールの間に挟まれたもの。
2	沖縄	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	清掃・と畜業	8月上旬	20歳代	50~99	—	整粒室建屋の石炭サンプリング設備の運転状況を確認するための巡回中、点検口付近において、設備内を走行してきたサンプリング装置と設備内側の壁の間に上半身を挟まれたもの。
3	名護	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	製造業	8月中旬	50歳代	1~9	—	平屋建てのスレート屋根の上で雨漏り防止作業中、スレートを踏み抜き、約6.5メートルの高さから墜落しコンクリート床に頭部を強打したもの。
4	沖縄	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	製造業	8月中旬	30歳代	300~	—	工場の燃成室内オープン出口付近でパンの焼き具合などの監視中、熱中症になったもの。
5	名護	有害物との接触	その他の起因物	教育研究業	9月下旬	60歳代	10~29	—	台風による停電で、冷蔵庫の電源用として室内に内燃機関を有する発電機を使用していたところ、一酸化炭素中毒になったもの。
6	名護	はさまれ、巻き込まれ	荷姿の物	商業	11月中旬	50歳代	10~29	—	廃棄用の耐火金庫(重さ約800kg)を撤去するために台車を用いて移動中、金庫が倒れて下敷きになったもの。
7	名護	墜落、転落	掘削用機械	産業廃棄物処理業	12月下旬	50歳代	1~9	—	産業廃棄物の処理場内においてドラグ・ショベルを用いて瓦礫の山の上でアームで破砕機をつり上げ作業中、ドラグ・ショベルが3.4m下方に転落し、ドラグ・ショベルのキャビンと瓦礫の間に挟まれたもの。